

港新聞の発行目的

- まじめに生活し働く区民の立場で
- 真実を伝え、ともに考え、提案し
- よりよい港区づくりに貢献する

発行 **港新聞** (代表:飯田吉一)

〒552-0005 大阪市港区田中3-3-3 TEL・FAX:06-6571-4636

<http://osaka-minatonews.sakura.ne.jp/>

Eメール:yamaemi@bridge.ocn.ne.jp

毎月15日にホームページで発行 <冊子1冊300円,年間3000円>

港新聞が閲覧できる場所

港図書館(弁天2-1-5), 港区民センター(弁天2-1-5), 港近隣センター(八幡屋1-4-20), 港区老人福祉センター(夕風2-5-22), 弁天町ORC200生涯学習センター(弁天1-2-2-700), 銭湯(朝日湯除く), 港区在宅サービスセンターひまわり(弁天2-15-1), 築港地域在宅サービスステーション(築港2-4-16), 港スポーツセンター(田中3-1-126), ほのぼの休憩所(八幡屋商店街内), 石炭倉庫(波除6-5-18), シネ・ヌーヴォ(西区九条1-20-24), 韋駄天尊(繁栄商店街内), 珈琲館隠岐(磯路3-25-6)

パソコントラブルレスキュー



パソコンに関することなら、すべておまかせください。

矢野システム研究所

- ▶ パソコンが起動がらない
- ▶ データを消してしまった、消えてしまった
- ▶ ハードディスクが調子悪い、大事なデータを取り出したい
- ▶ ウィルスが進入して困った、どうしよう
- ▶ 外国製のパソコンが調子悪い、助けて!

港区八幡屋1-9-2 ☎6573-4321

国保と労働保険のご相談は民商へ

港民主商工会

パソコンの記帳も民商へ!

港区夕風2-10-16 ☎6572-7867

ゆうやけ

★「過去に目を閉ざす者は現在にも盲目だ」と演説したのはドイツ大統領だったワイツゼッカーさん。平和運動でよく使われる言葉ですが、区画整理記念事業の検討(1頁)にも言えること。何よりも水害に強い港区の土台を造った歴史を次世代へ継承するという同事業の趣旨に沿った方向で進むことが期待されます。

★その世界的名言をまさに平和運動に生かそうとの提言が、今年も高橋健治さんから投稿されました(10頁)。戦争による加害・被害の両面を直視するためにと供された映画の話は実にドラマチックで教訓的です。

★ほかにも今号では、最近の戦争政治に警鐘

を乱打する内容が目白押し。「大空襲を語る集い」「港戦争展」の案内(12頁)、戦争体験記の頒布(14頁)、戦争法案を危惧する投稿(16頁)、歌と朗読でファシズムを糾弾するシャンソン歌手(28頁)、そして前号から連載の小川さんの戦争体験談(36頁)。こうした力が相まって、平和へ向かう戦後70年となりますように!

★ともあれ平和でこそ成り立つのが商売や芸術の世界。夜店や露店で賑わう商店街(22、24頁)、パリからの里帰り演奏に意欲燃やす港区出身女性(26頁)、事故から復活した歌手のチャリティ呼びかけ(31頁)一等々には、当たり前と思わんと、しっかり平和を感じて下さいね。